

「私からありがとう」

白崎 里奈

「この手は、いい事をするのに使おうな。」

これは、会うと必ずばあばが話してくれる言葉です。私の手を握って、優しい声で言ってくれます。

「かわいいこの手は、いい事をするのに使おうな。この大切な手は、悪いことをするのに使ったらアカンよ。ありがとうって、言ってもらえるようなことに使おうな。」

覚えてしまいうくらい何度も。そんな優しい心を持つばあばが大好きです。

今年の夏休みは時々、朝からゴミを出すお手伝いをしていきます。私がゴミを出していると、近所のおばあさんが、小さなゴミ袋を持って歩いてくるのが見えました。私は、おばあさんがゴミを捨てるまで、ゴミ収集のフタを開けて待っていました。すると、おばあさんは、

「ありがとう。助かったよ。優しいね。よく気がつくね。ほんとうにありがとうね。」

と、何度もお礼を言ってくれました。私はそんな何度も、「ありがとう。」と言ってもらえるほどのことをしたつもりはありませんでした。ただ、いつもお母さんがしている様に何気なくしただけでした。それなのに何度も

「ありがとう。」

と言われて、少しはすかしくなりました。けれど、それ以上にとてもうれしかったです。それと、これだけのことでこんなに感謝してもらえるのだと分かりました。小さなことかもしれないけれど、これがいつもばあばが話してくれることなのかなと思いました。

「この手で、いい事をしような。ありがとうって言ってもらえるような事をしような。」

この言葉がすごく分かりました。

「ありがとう。」

と、おばあさんが言ってくれたことで、感謝してもらえたんだと分かりました。「ありがとう。」の気持ちは、人に伝えることも大切だと改めて思いました。私は「ありがとう。」と感謝の気持ちを言ってもらい、とてもうれしかったからです。

「いい事をするために使う手。人のために使おうな。」

と、いつも話してくれるばあば。そして、

「ありがとう。」

と言ってくれた近所のおばあさんに、私からも言いたいです。

「ありがとう。」